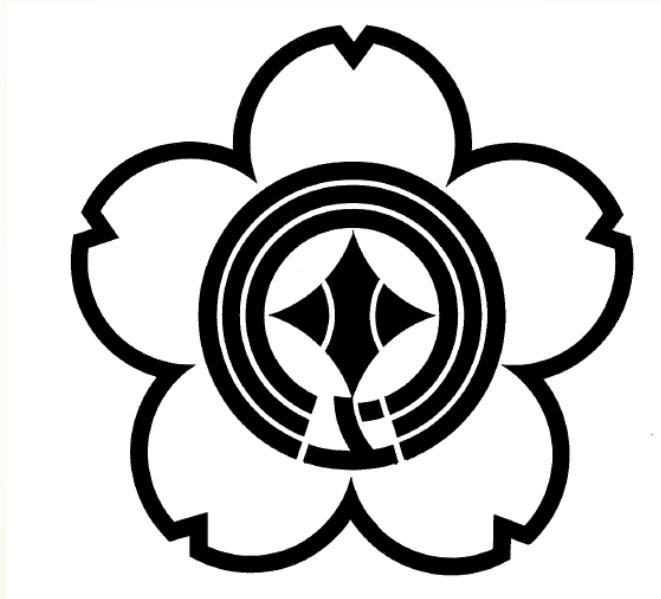


令和2年度  
学校評価（10月）結果



岩国市立川上小学校

# 岩国市立川上小学校 学校教育目標

## 【学校教育目標】

ふるさとを愛し心豊かにたくましく生き抜く周東っ子の育成

山口県教育委員会  
教育目標

未来を拓く  
たくましい  
「やまぐちっ子」  
の育成

(めざす学校像)

3つの元気(子ども・教職員・地域)  
魅力ある！ワクワクする楽しい学校

(めざす児童像)

主体的な子ども(気づき・考え・行動する)

- かっこいい子「自ら学び、自ら考えて行動する子」(知)
- やさしい子「自他を大切にし、楽しく協力できる子」(徳)
- たくましい子「明るく心身ともにたくましい子」(体)

岩国市教育委員会  
基本目標

志高く  
豊かな心と  
生き抜く力  
を育む

# 重点取組事項

- 1 あきらめることなく向上し続ける学校づくりの推進
  - 自己の目標を設定し、主体的に学び続ける子どもの育成(かしこい子)
    - ・ 児童一人ひとりが目標設定の大切さに気づき、その振り返りから学ぶことを繰り返しながら、成長し続ける習慣を確立する。(主体的な学び)
  - 多くの協力体験を仕掛け、高いコミュニケーション能力の育成(やさしい子)
    - ・ 他校の児童や教職員、保護者、地域の方々の多くの言動に触れることにより、自分とは違う考え方や行動を認め、自他を尊重し合う心を養う。
  - 心の底からの明るさと丈夫な身体の育成(たくましい子)
    - ・ 家庭や地域との強い連携による、よりよい生活・運動習慣を確立する。
- 2 地域に元気を送り出す学校づくりの推進
  - 保護者・地域・地域諸機関との連携・協働を強化し、学校に関わる全ての人の元気を生み出す。
- 3 豊かな授業創造のために自ら資質能力向上に努める教職員集団づくりの推進
  - 自己の強みを自覚し、自ら積極的に学びの場を求め、見て・聞いて・感じて・考えて・行動して、自己の資質・能力向上に喜びを感じる教職員になる。

見える化（数値・情報発信）

# 学校教育目標(重点目標) アンケート対応表

評価領域	重点目標	具体的方策 (教育活動)	評価基準	児童アンケート	保護者アンケート	教職員アンケート
向上し続ける学校づくり	自己の目標を設定し、学び続ける子どもの育成	自己目標を設定し、振り返る習慣を身に付けるために、目標設定と振り返りの場を設定する。	アンケート肯定的評価 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	授業中、知りたい、分かったと思うことがたくさんある。	子どもは、家庭学習において、自分で決めた目標に向かって取り組んでいる。	子どもの目標についての振り返りの場を多く設置した。
	多くの協力体験を仕掛け、高いコミュニケーション能力の育成	児童が主体的に活動できる教育活動を学期に1回以上設定する。	アンケート肯定的評価 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	自分の成長を振り返り、成長したことを感じることもある。	子どもは、夢や希望をもち、振り返りながら生活している。	子どもに、夢や目標をもたせるとともに、それを意識した教育活動に取り組んでいる。
	心の底からの明るさと丈夫な身体の育成	・心と体の健康安全の徹底 ・朝のランニングと柔軟体操の継続	アンケート肯定的評価 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	学校と連携し、ゲームやテレビの時間を決めて、早寝早起き朝ごはんを心がけている。	学校は、保護者・地域・住民との体験を仕組み、子どものコミュニケーション能力を高めようとしている。	学校内外の方々とのコミュニケーションの取り方について、意識して指導・助言できている。
地域に元気を送り出す学校づくり	保護者・地域・地域諸機関との連携・協働の強化	児童が主体となった保護者・地域との積極的な活動を仕組む。	アンケート肯定的評価 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	学校と連携し、ゲームやテレビの時間を決めて、早寝早起き朝ごはんを心がけている。	学校は、子どもの「心と体の安全・安心」を大切にされた教育活動を行っている。	保護者や地域の方と連携して、基本的な生活習慣が身に付くような声かけを工夫している。
	学校に関わる全ての人の元気を生み出す	児童が作成したチャレンジ目標を年間を通して意識させ、積極的に行動できるよう支援する。	アンケート肯定的評価 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	体力を向上させるために、朝のランニングや、柔軟運動に一生懸命取り組んでいる。	子どもは、家庭においても体力の向上や保持増進にむけた取組を行っている。	「心と体の安全」を常に意識させた教育活動に取り組んでいる。
				他の人に感謝の気持ちを持ち、「お先にあいさつ、笑顔であいさつ 元気に返事」がいつでもどこでもだれにでもできる。	子どもは、元気なあいさつができる。	地域を素材にしたり、連携したりしたカリキュラムに取り組んでいる。
			地域や地域の人のために、何かしたいと考えたことがある。	学校は、保護者や地域の方々に元気を生み出す活動を行っている。	保護者や地域の方に元気を送り出す、教育活動を行っている。	

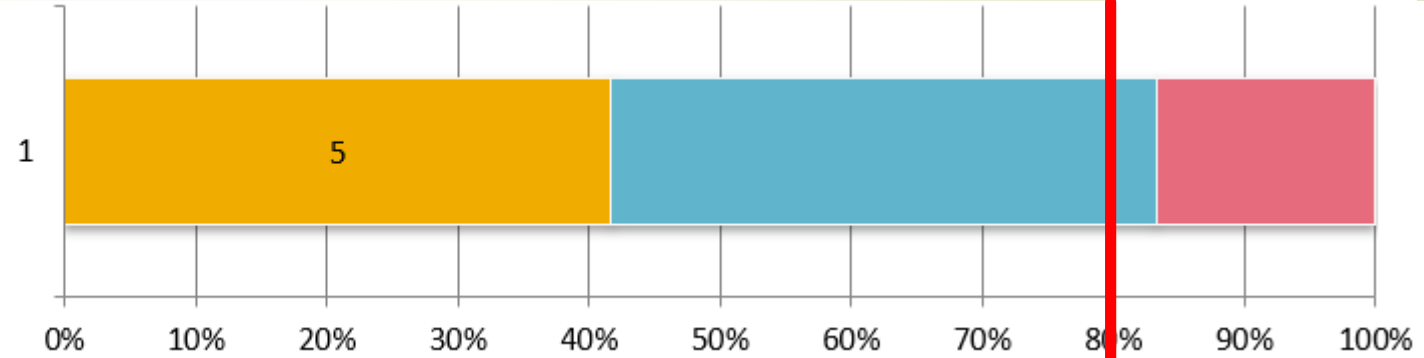
# あきらめることなく向上し続ける学校づくり

自己の目標を設定し、学び続ける子どもの育成①

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

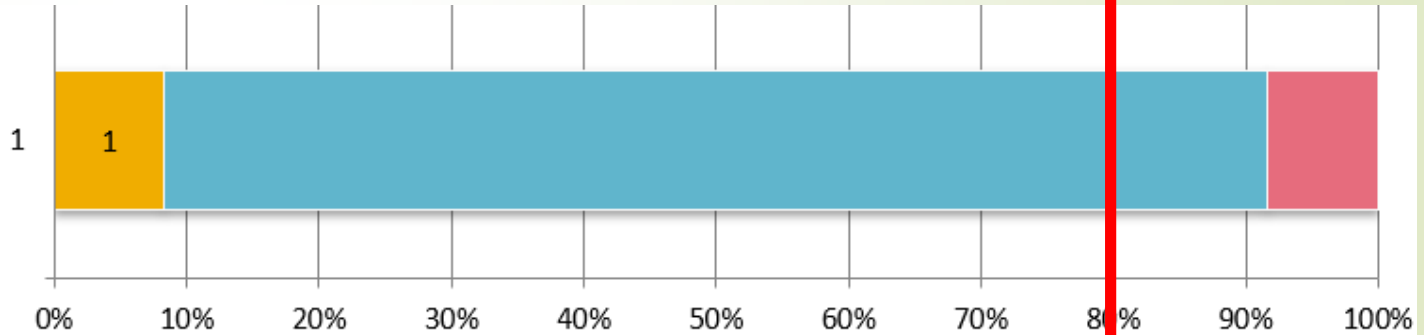
児童

授業中、知りたい、分かりたいとおもうことがたくさんある。



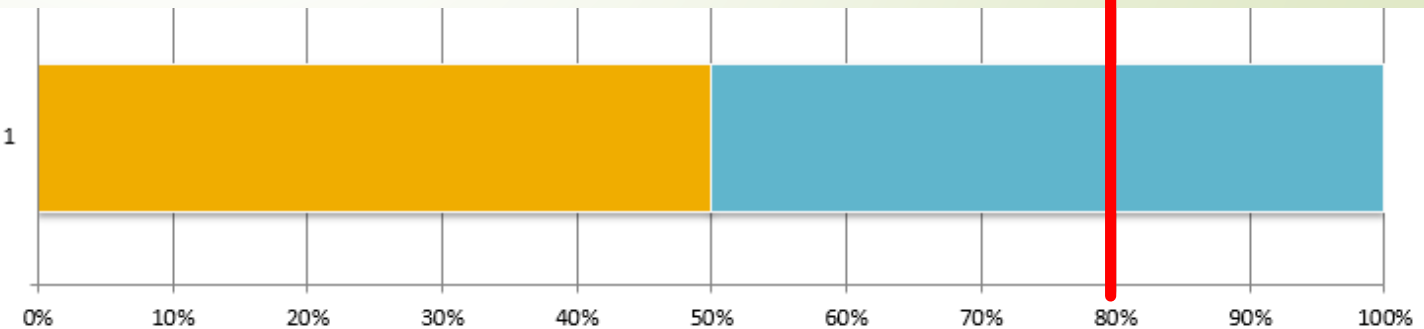
保護者

子どもは、家庭学習において、自分で決めた目標に向かって取り組んでいる。



教職員

子どもの目標についてのふり返りの場を多く設置した。



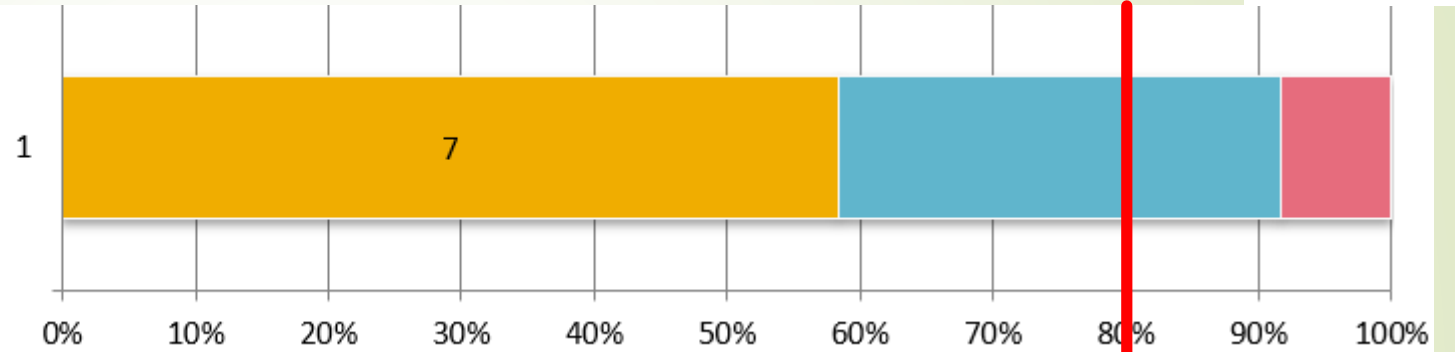
# あきらめることなく向上し学び続ける学校づくり

## 自己の目標を設定し、学び続ける子どもの育成②

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

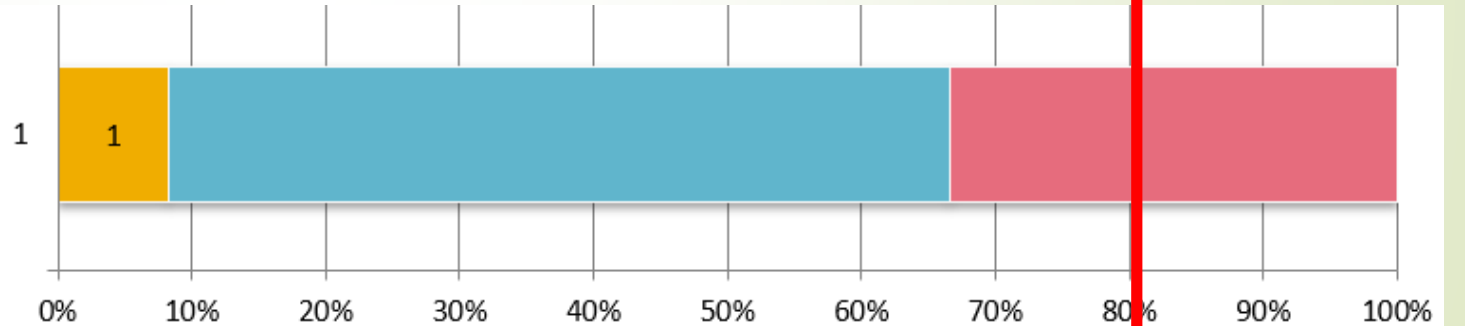
児童

将来の夢、日々の学習や生活の目標をもつことができる。



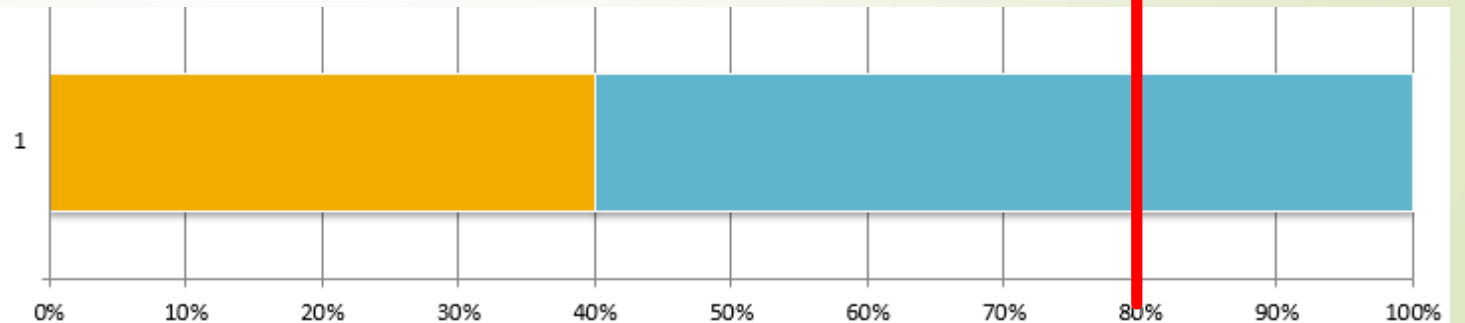
保護者

子どもは、夢や希望をもち、自信の取組を振り返りながら生活している。



教職員

子どもに、夢や目標をもたせるとともに、それを意識した教育活動に取り組んでいる。

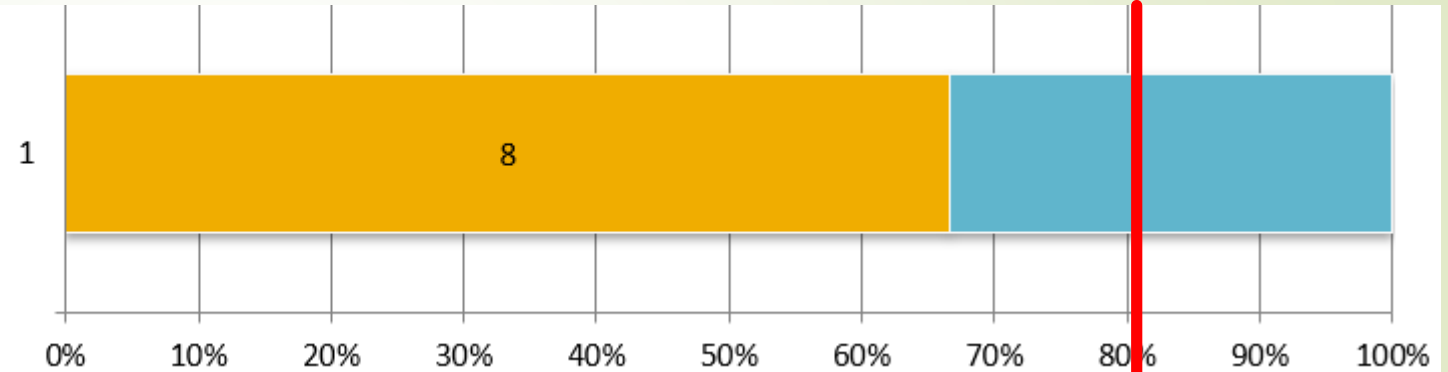


# あきらめることなく向上し学び続ける学校づくり 多くの協力体験を仕掛け、高いコミュニケーション能力の育成

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

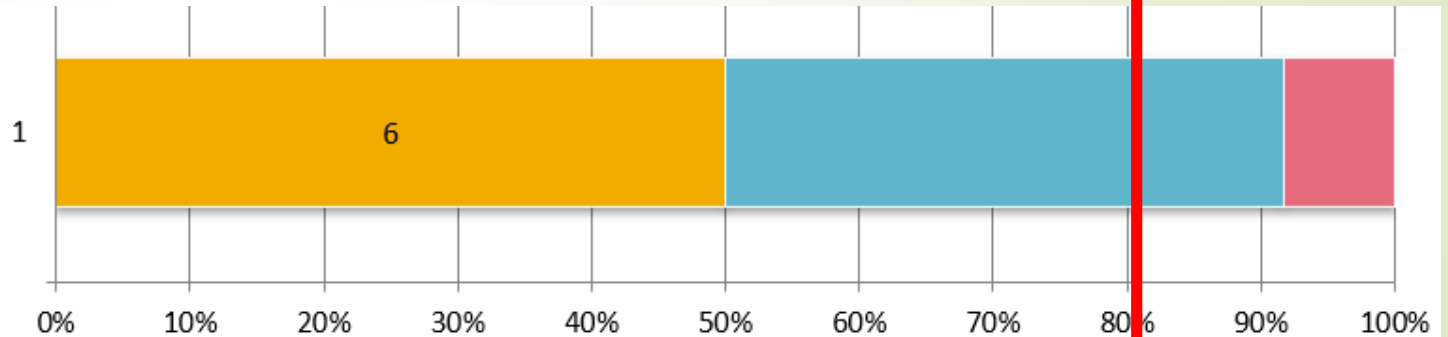
児童

自分の考えをもち、自分の考えを伝えたり、相手の意見を聞いたりすることができる。



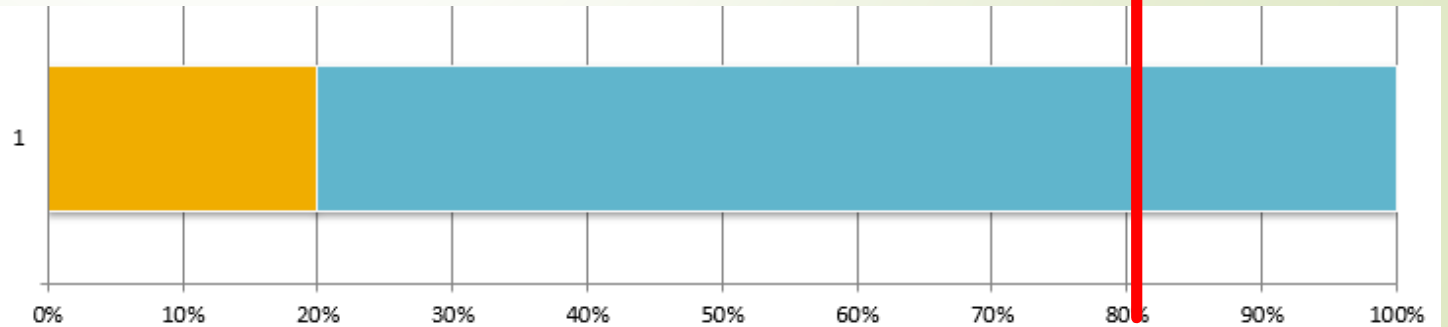
保護者

学校は、保護者・地域・住民との体験を仕組み、子どものコミュニケーション能力を高めようとしている。



教職員

学校内外の方々とのコミュニケーションの取り方について、意識して指導・助言できている。





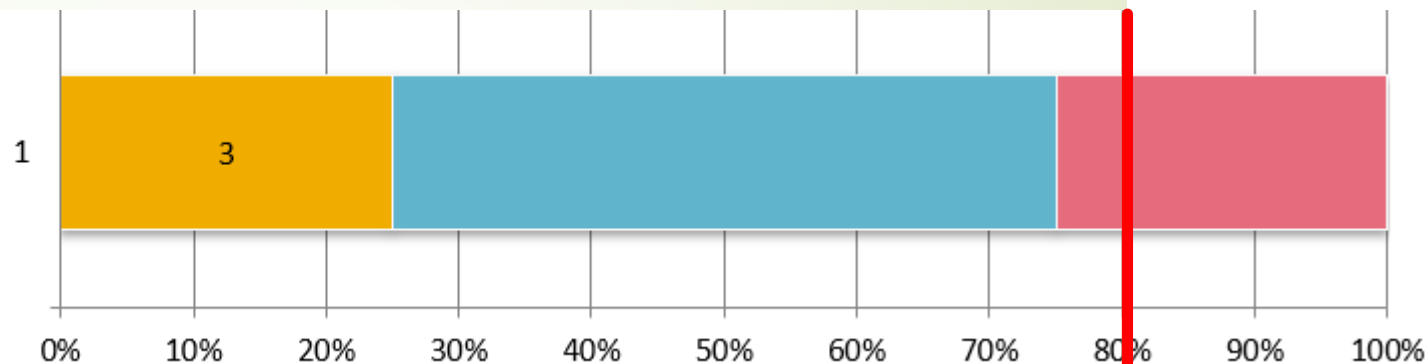
# あきらめることなく向上し続ける学校づくり

## 心の底からの明るさと丈夫な身体の育成①

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

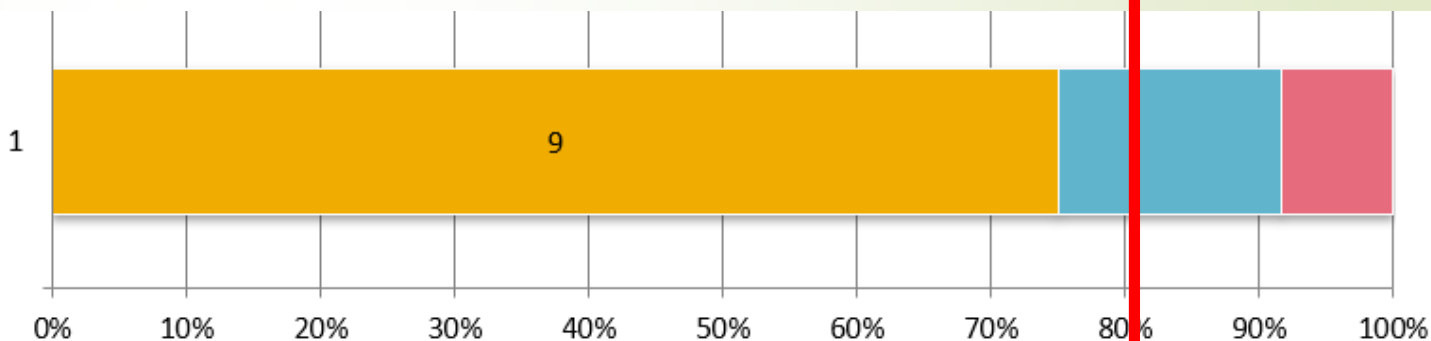
児童

ゲームやテレビの時間を決めて、早寝早起き朝ご飯を心がけている。



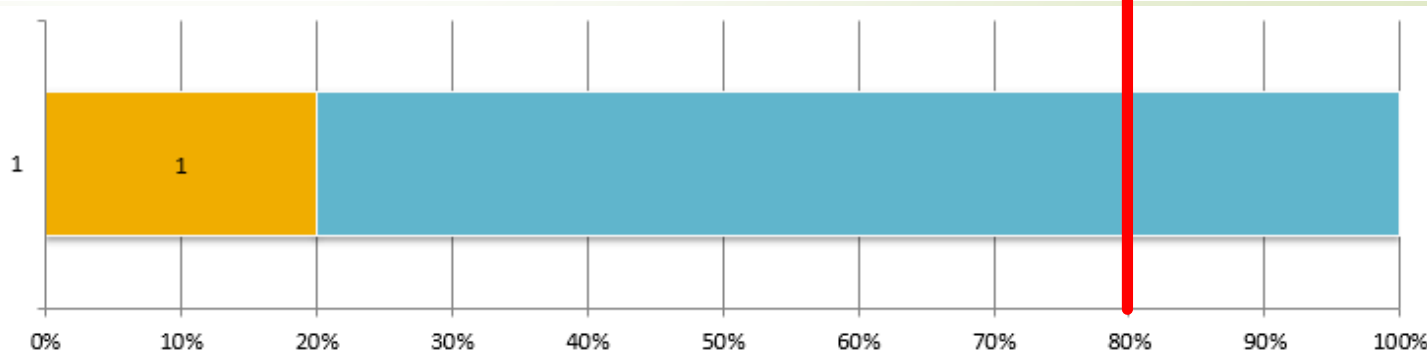
保護者

学校は、子どもの「心と体の安全・安心」を大切にした教育活動を行っている。



教職員

保護者や地域の方と連携して、基本的な生活習慣が身に付くような声かけを工夫している。





# あきらめることなく向上し続ける学校づくり

## 心の底からの明るさと丈夫な身体の育成②

児童

体力を向上させるために、朝のランニングや、柔軟運動に一生懸命取り組んでいる。

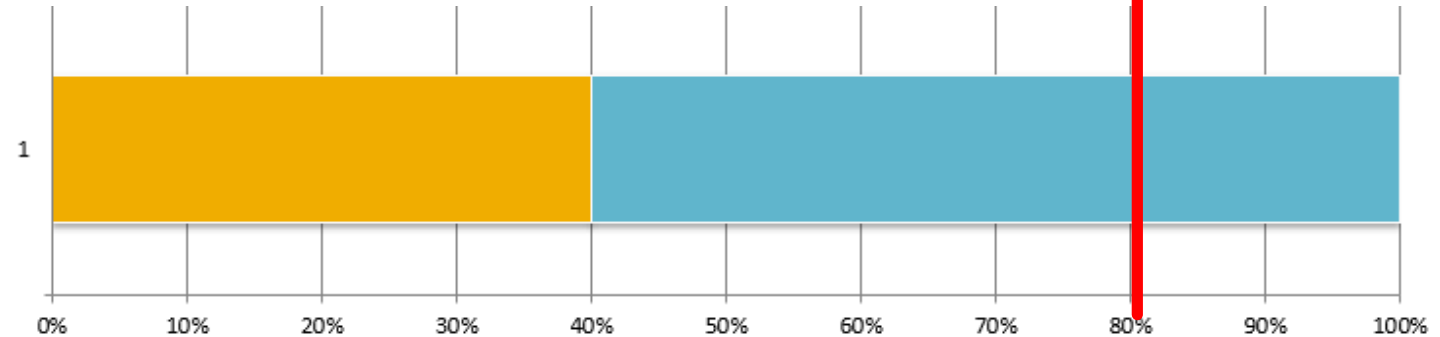
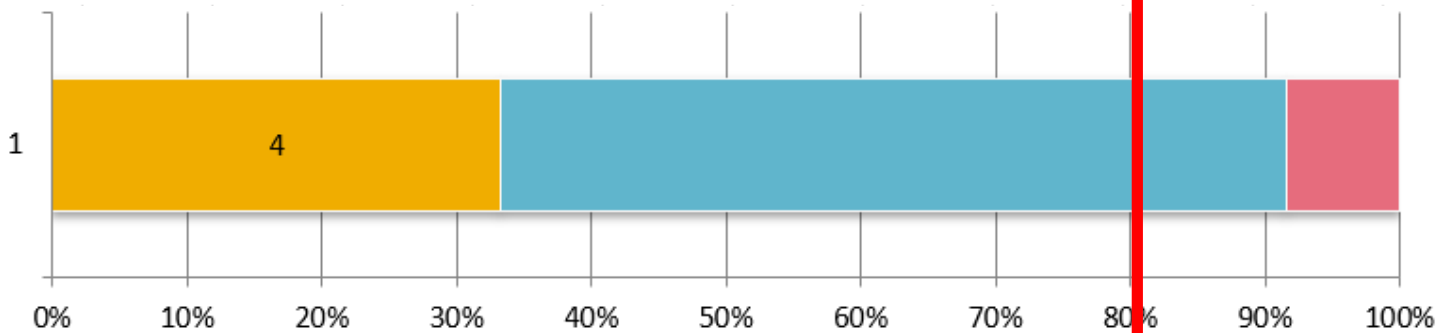
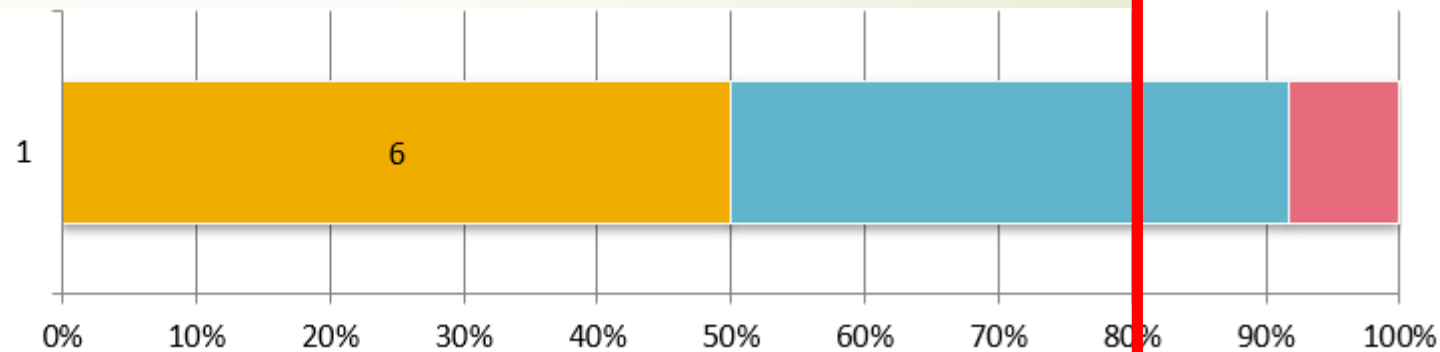
保護者

子どもは、家庭においても体力の向上や保持増進にむけた取組を行っている。

教職員

「心と体の安全」を常に意識させた教育活動に取り組んでいる。

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない



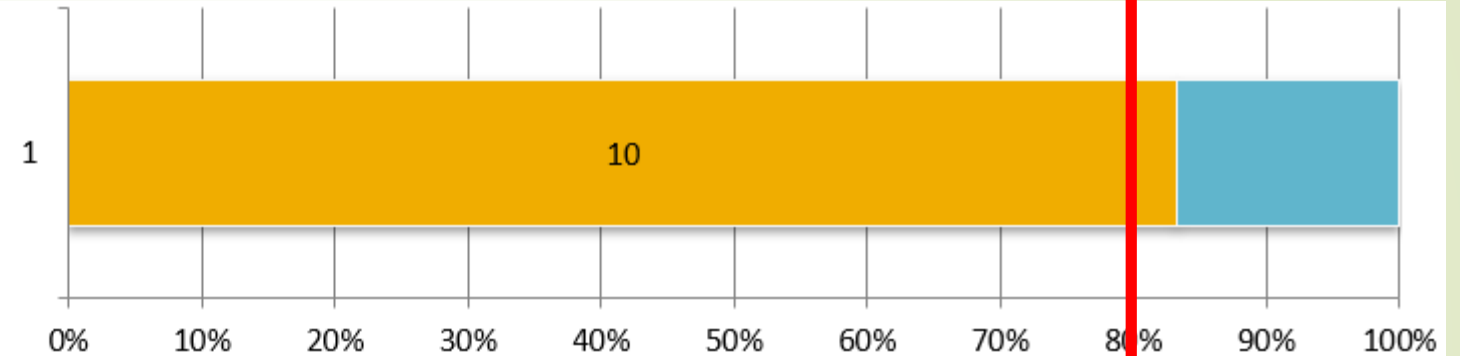
# 地域に元気を送り出す学校づくり

保護者・地域・地域諸機関との連携・協働の強化

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

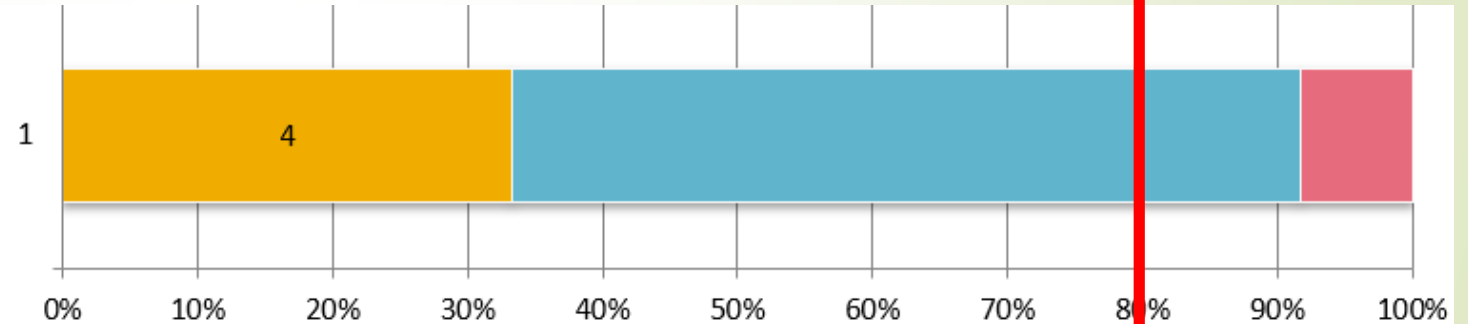
児童

地域の方と一緒に取り組む授業や学校行事でのふれあい活動は楽しい。



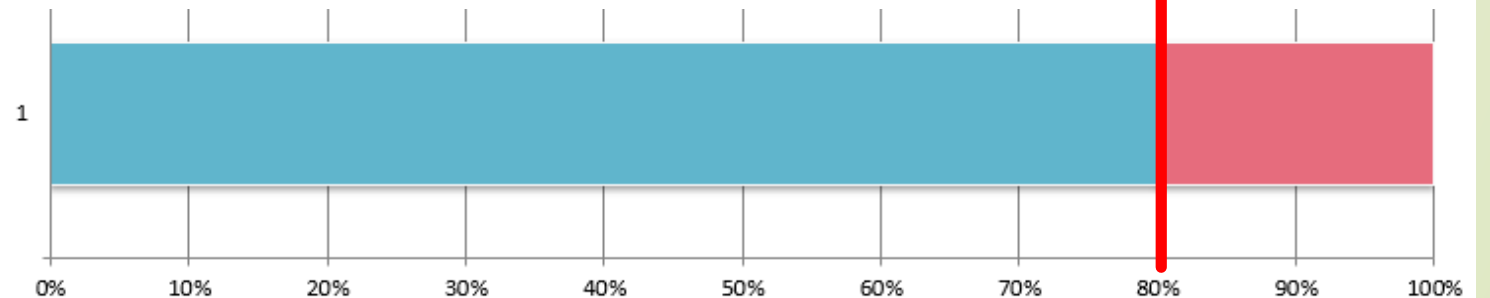
保護者

子どもを中心に保護者や地域住民との積極的な活動を行っている。



教職員

地域を素材にしたり、連携したりしてカリキュラムに取り組んでいる。



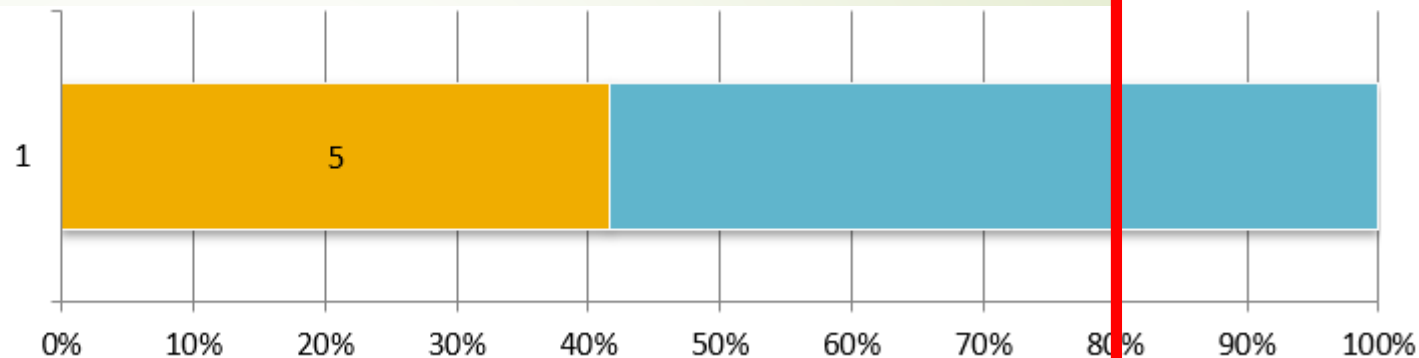
# 地域に元気を送り出す学校づくり

学校に関わる全ての人の元気を生み出す①

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

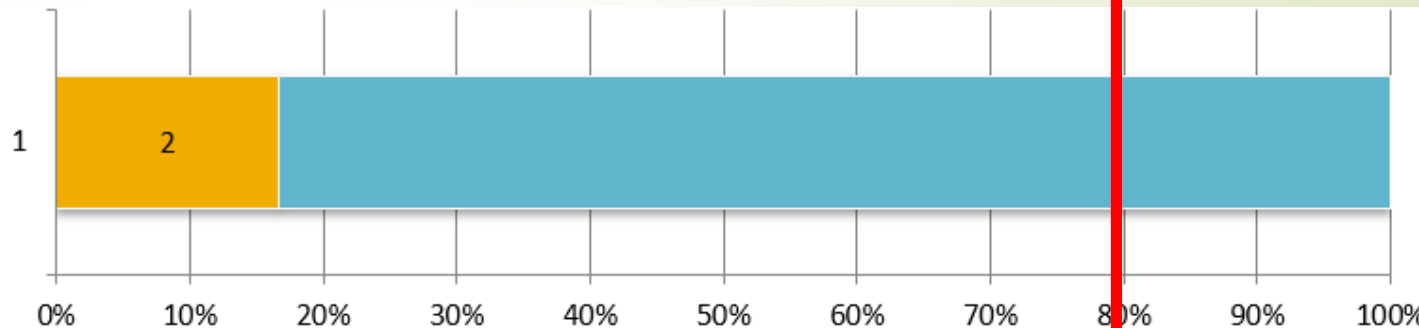
児童

他の人に感謝の気持ちを持ち、大きな声であいさつがいつでもどこでもだれにでもできる。



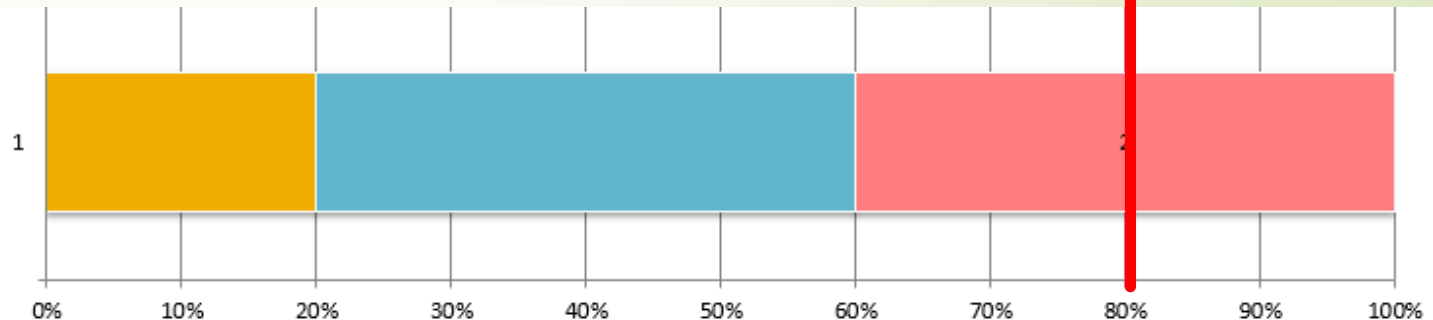
保護者

学校は、子どもは、元気なあいさつができる。



教職員

チャレンジ目標を年間をとおして意識させ、行動が変化した。



# 地域に元気を送り出す学校づくり

## 学校に関わる全ての元気を生み出す②

■ よくあてはまる

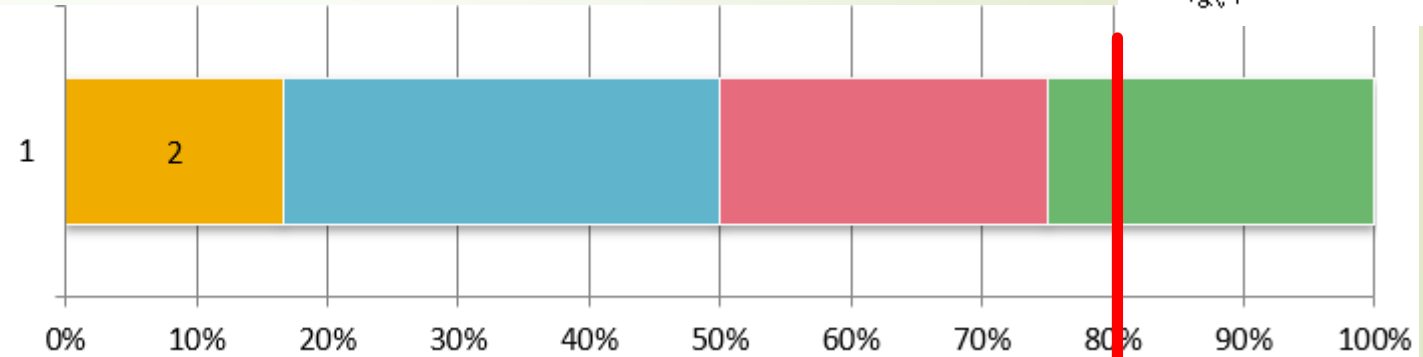
■ ややあてはまる

■ あまりあてはまらない

■ まったくあてはまらない

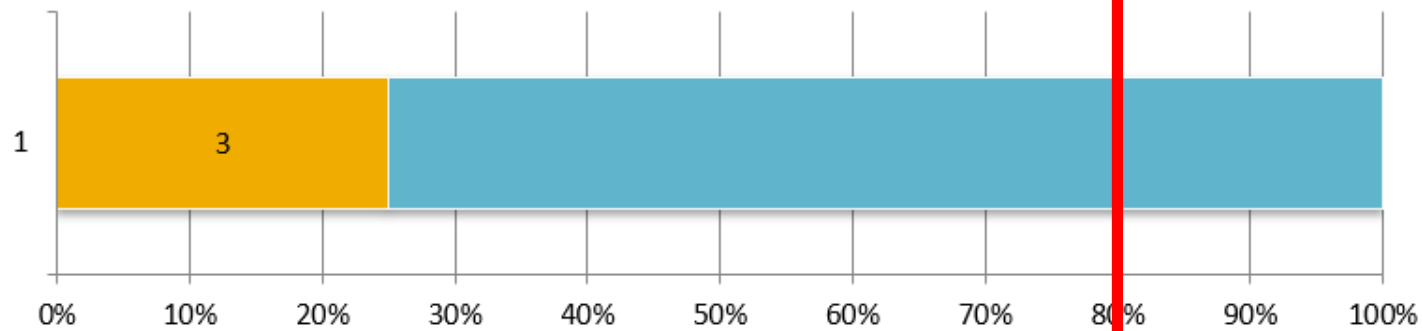
児童

地域や地域の人のために、何かしたいと考えたことがある。



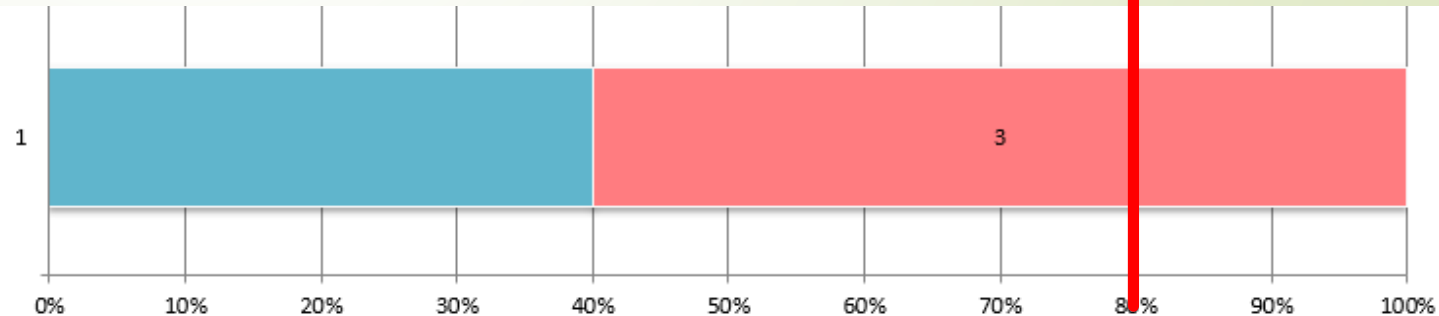
保護者

学校は、保護者や地域の方々に元気を生み出す活動を行っている。



教職員

保護者や地域の方に元気を送り出す、教育活動を行っている。



# 分析（児童）

## 児童（+）

- ▶ 自分の考えをもっている→ 主体性
- ▶ 地域の方と一緒にやる活動は楽しい（よくあてはまるが80%以上）
- ▶ チャレンジ目標にも掲げている「あいさつ」が高評価

## 児童（-）

- ▶ 授業中もっと「知りたい・分かってほしい」を高める必要がある
- ▶ ゲームの時間、早寝早起きができていない児童もいる
- ▶ 地域や保護者のために何かしたいと思う児童が少ない

# 分析（保護者）

## 保護者（＋）

- ▶ 心と体の安全・安心を大切にした教育活動をしている
- ▶ 子どもは元気なあいさつができる
- ▶ 学校は、保護者や地域の方々に元気を生み出す活動をしている

## 保護者（－）

- ▶ 家庭学習において、取組が十分満足できるものではない？
- ▶ 子どもは、夢や希望をもっているか？
- ▶ 自身の取組を振り返りながら生活できているか？

## 分析（教職員）

### 教職員（＋）

- ▶ 児童の目標についての振り返りの場を多く設定している（授業他）
- ▶ 夢や目標をもたせ、それを意識した教育活動（キャリア教育・特別活動）
- ▶ こころと体の安全を常に意識させた教育活動（生徒指導・保健・学校安全）

### 教職員（－）

- ▶ 地域を素材にしたカリキュラムや連携が不十分
- ▶ チャレンジ目標を意識した児童の行動変容が見られない
- ▶ 保護者や地域に元気を送り出す教育活動ができていない（コロナの影響）



# 今後の方向性

## 主体性・自己肯定感を高める

- ▶ 自分の意見をもたせ、話し合い、考えを深める授業（アクティブラーニング）
- ▶ 児童の自己肯定感をもたせる活動や評価（声かけ・コミュニケーション）
- ▶ 家庭での学習やゲームのきまりを守る（学校と家庭の連携）

## 地域と一体となった教育活動

- ▶ 地域と一体となった体験活動等の更なる充実
- ▶ ユニット型研修の推進（地域の方による授業参観や授業支援等）
- ▶ 地域カリキュラム（川上学）の創造（総合：カリキュラムマネジメント）